

2015 年度「研修会報告」 No.3



新人会員さん、及び学び直し希望の会員さんの要望を受け、「基礎セミナー」を開催しました。

講師は留学生教育や日本語教師養成講座で経験豊富な井上敬子先生をお招きし、テーマは事前アンケートを基に「動詞」を取り上げました。

	開催日	主たるテーマ	参加者数
第 1 回	12 月 19 日 (土)	日本語教育の基礎、動詞について	11 名
第 2 回	2016 3 月 13 日 (日)	自/他動詞の理解とレッスン時の工夫	13 名

◆第 1 回

(1) 日本語文の特徴 (2) 日本語教育と国語教育の活用形の呼称の違い (テ形、ナイ形など) (3) 動詞の種類と働きとして、「本動詞/補助動詞」、「意思動詞/無意志動詞」、「状態動詞/継続動詞/瞬間動詞」などの基礎知識を総復習しました。

◆第 2 回

学習者が混乱しやすい「自動詞/他動詞」の指導法について学びました。

- ・自動詞→ヲ格をとらない (目的語がない) 例文：窓が開く
- ・他動詞→ヲ格をとる (*「起点」「通過点」のヲ格を除く) 例文：(私が) 窓を開ける



例文は絵カードや実物を使いながら、学習者に身近な状況を設定することが大切です。そして、自動詞の場合は「(何) が〜」、他動詞の場合は「(何) を〜」の助詞を強調して記憶に残るように導入します。

なお、自/他動詞は対応する場合がありますが、対応しない場合もあるので注意が必要です。また、「〜ている」、「〜である」、「〜ておく」と結びついた場合の使い方も注意します。(写真：松村/小林、報告：稲谷)

